

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 白石中央スマートIC工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計関係図書 06-9_設計図(参考図) 図面番号 17 頁 迂回道路の路盤工の厚さをご教示ください。	迂回道路の路盤工の厚さについて、設計図(参考図)(19/39) 迂回道路計画図(2)を参照ください。
2	設計関係図書 特記仕様書 25 頁 盛土工Bの土質区分を提示願います。	盛土工Bの土質区分は土砂Bとなります。交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。
3	設計関係図書 設計図(Bランプ橋) 1/53 構造物掘削特殊部Aと特殊部Bの掘削場所をご教示ください。また、埋戻しの記載がございませんが、埋戻しはないという認識でよろしいでしょうか。ご確認ください。	<p>構造物掘削 特殊部A及び特殊部Bの掘削場所について、特記仕様書 27-6 構造物掘削(1)定義を参照ください。</p> <p>なお、設計図(Bランプ橋)(1/53) Bランプ橋 下部工数量総括表のうち、構造物掘削 特殊部の数量について、正しくは以下のとおりとなります。</p> <p>構造物掘削 特殊部A 埋戻しB 422.6m<sup>3</sup> 特殊部B 埋戻しB 181.2m<sup>3</sup></p> <p>また、設計図(Dランプ橋)(1/50) Dランプ橋 下部工数量総括表のうち、構造物掘削 特殊部の数量について、正しくは以下のとおりとなります。</p> <p>構造物掘削 特殊部C 埋戻しB 243.4m<sup>3</sup> 特殊部D 埋戻しB 388.9m<sup>3</sup></p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>

4	<p>設計関係図書 設計図（詳細図）1/26 詳細図および標準図集に記載されている排水構造物の「構造物掘削普通部」で発生する土についても、路体へ運搬するという理解で問題ありませんでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
5	<p>設計関係図書 設計図（Dランプ橋） 32/50 補強リング、固定金具の集計表に置きまして、D35 用補強リングの質量が461kg、D29 用が 529kg となっております。正しくは下記ではないでしょうか。 D35 用：65.92kg/本×8 本≒527kg D29 用：66.16kg/本×7 本≒463kg</p>	<p>補強リング、固定金具の集計表における補強リングの数量について、正しくは以下のとおりとなります。</p> <p>主鉄筋D35 用：7 本 主鉄筋D29 用：8 本</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
6	<p>設計関係図書 特記仕様書 P45 地盤改良の固化材につきまして、「室内試験の結果をもとに固化材の種類及び添加量を決定」とお示しいただいておりますが、当初は一般軟弱土用と特殊土用のいずれをお見込みでしょうか。</p>	<p>特記仕様書27-25 地盤改良工 に記載の『固化材』について、正しくは『改良材』となります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
7	<p>設計関係図書 設計書 数量明細表 割掛対照表 現地にある立木は伐採処分が必要と思いますが設計関係図書に明記はありません。その費用は土木工事共通仕様書ページ 1-36 の共通仮設費の準備費に含まれるのでしょうか。</p>	<p>特記仕様書 27-2 道路掘削（2）施工 に記載のとおりとなります。</p>

8	<p>公共労務単価についての質問に対しての回答にて、「本年３月における労務単価の改定等の取扱いについては、現時点では未定です。詳細が決まり次第、弊社ホームページにてお知らせいたします。」と回答顶きましたが、貴社のホームページに掲載している「設計単価の改定（令和 7 年 3 月）および特例措置について」に記載の通りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>上記の通りだと本工事は入札締め切りが 3 月 24 日のため、公共労務単価については令和 7 年 3 月単価、なおかつ、令和 7 年 3 月改訂の土木工事等単価ファイルが適用され则认为よろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
---	---	-----------------